

学校だより



平沼

令和4年10月31日

横浜市立平沼小学校

Mail ; y3hiranu@edu.city.yokohama.jp

URL ; <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/hiranima/>



子どもたちの声援の心地よさ～平沼カップ～

副校長 桐畑 美登利

朝夕の空気の冷え込みが一段と増し、深まる秋の漂いを感じます。季節は、人々が忘れかけていてもしっかりと巡ってくることにいつも驚かされます。後期が始まって3週間が経ち、今年もはや、「霜月」11月を迎えます。平沼小学校の子どもたちの学びは、豊かな実りを見せています。

さて、10月21・22日には平沼カップ2022が開催され、天候にも恵まれ、子どもたちはこれまでの練習の成果を思いきり発揮することができました。

今年もたくさんの感動がありました。その中において、子どもたちの歓喜や声援の音が、こんなにも明るく心地よいと思ったことはありません。これが本来の学校なのだと、しみじみと感じました。思えば、子どもたちが声を張ったり、感極まって大きな声を出したりすること自体、戸惑うような制約のある生活を続けてきました。その中で平沼カップ当日の子どもたちの声は大変に清々しく秋の爽やかな空気に響き渡りました。

前日までの練習にもまして、当日は、スローガンの通り「心を一つに スマイルパワー」が全開でした。

開会式・閉会式での代表児童の立派な言葉、聖火ランナーの堂々とした姿が見られました。

学年の団体競技では、各学年のよさが表れ、懸命にチームで力を合わせて戦いました。

徒競走では、一人ひとりが一心に全力でゴールを目指し、走り切った時の満足した顔が素敵でした。

選抜リレーでは、バトンパスの巧みさ、力強い走りが見られました。また上学年が下学年を支える姿も本当に素晴らしく感動的でした。

学年演技では、各学年の挑戦がありました。リズムに乗って笑顔で踊る姿、手足指先まで意識し、自分の身体だけでの表現、掛け声とともに迫力ある動きなど、様々な動きを組み合わせながら、「心を一つにした演技が見られました。笑顔と誇らしさでパワー全開でした。

高学年児童は、委員会活動に進んで取組み、平沼カップを支えようとする責任感にも感動しました。

更に、赤・青・黄組それぞれを一つにまとめた応援団、校庭だけでなくテレビ観戦をしている教室においても、真剣に応援をリードしました。応援グッズのシャカシャカの音がまた心地よく響き、応援も大変に盛り上がりました。平沼カップを通して高めた学びや育ちは、今後更に磨かれていきます。

保護者・地域の皆様からは、今年度も様々な制約の中、多くのご理解とご協力をいただきました。そのおかげで豊かな実りを得ることができました。本当にありがとうございました。

また受付や誘導等の仕事を受け持ってくださいました共育ネット・PTA 役員の皆様には、気持ちよくご案内いただきました。本当にありがとうございました。

11月は6年生の修学旅行、4・5年生の宿泊体験学習、12月のソングパーティーに向けての取組等、スマイルパワー全開で、実りを更に深めていきたいと思っております。



平沼カップ開会式